

## 小野寺利美さんが功労賞を受賞 長年にわたり職業訓練の発展に貢献

11月21日、東京都港区の明治記念館で行われた平成30年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰において、有限会社小野寺工務店代表取締役社長で一関職業訓練協会会長の小野寺利美さん(11区)が功労賞を受賞しました。この表彰は、職業訓練や技能検定の実施、技能振興の推進に関して、長年にわたって多大な貢献があった功労者を表彰するものであり、小野寺さんは約半世紀にわたり一関高等職業訓練校で木造建築科の実技の講師を務め、若手技術者へ技の伝承に努めた功績が評価されました。



## 生活習慣病の正しい知識を深める 平泉町男女共同参画講演会

平泉町男女共同参画講演会(平泉男女共同参画サポーターの会主催)が11月11日、町役場で開催されました。医療法人三秋会の管理栄養士長である澤口真規子さんが「いつまでも、若く元気であるために～フレイル予防は食力アップ～」と題して講演。澤口さんは、年齢に伴う筋力や心身の活力の低下を防ぐためには、「栄養と口腔」「身体活動」「社会参加」が大事と話し、いつまでも生き生きと暮らすためのヒントを語っていました。



## 防犯灯10基を町に寄贈 東北電力一関電力センター

11月20日、東北電力一関電力センターの小野寺賢一所長(写真中央)と株式会社ユアテック一関営業所の後藤桂司所長(写真右)が役場を訪れ、青木町長に発光ダイオード(LED)防犯灯10基と取り付け工事一式を寄贈する目録を手渡しました。この寄贈は、同社が安全で明るい町づくりに向けた取り組みを支援することを目的に定期的実施。青木町長は「町としても防犯を周知し、明るく住みよいまちづくりに努めていきたい」と感謝しました。



## 高齢者が安心して暮らせる地域へ 町地域ケア推進会議

11月14日、平成30年度第2回地域ケア推進会議が町役場を会場に開かれました。会議は高齢者を取り巻く地域の共通課題を関係者が共有することで解決策を探ることを目的に開催。会議には、町内や一関市から在宅介護をはじめとする福祉関係者ら約35人が参加しました。このうちグループワークでは、町内での事例を踏まえて互いに意見を出し合いながら、高齢者が安心して生活できる地域づくりへの解決策をまとめていました。



## 高橋奈々恵さんが奨励賞を受賞 全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会

第38回全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会において、平泉中学校3年生の高橋奈々恵さんが奨励賞を受賞しました。受賞作文「一人の人間として」には、周囲からの何気ない言葉で傷つけられた経験もあるが、それ以上にたくさんの人たちからの応援と励ましがあり今の自分があること、これからは相手の立場や気持ちを考えて、一人の人間として自立していきたいという決意が書かれています。賞状と楯を贈呈された高橋さんは「うれしいです」とほほ笑んでいました。



## 5歳児らの健康な歯をたたえる 歯科保健表彰式

11月18日、町役場で平成30年度歯科保健表彰式を開催し、むし歯のない5歳児と健康な歯を保っている高齢者に青木町長からそれぞれ表彰状が贈られました。表彰式は町民の歯や口腔ケアに対する意識高揚を目的に、町健康づくりの集いと併せて実施。本年度は歯科健診で「むし歯のない5歳児」だった31人、65歳以上で25本以上の歯を保っている「6525運動」達成者12人、70歳以上で20本以上の歯を保っている「イー歯7020」達成者16人の計59人が表彰されました。



## ほのぼのの賞を受賞 ふるさとCM大賞 in IWATE2018

県内29市町村が手作りコマーシャルでふるさとをアピールする「ふるさとCM大賞 in IWATE2018」(岩手朝日テレビ主催)の審査会が11月25日、盛岡市で行われました。当町は作品名「大好き♡平泉」で参加し、子どものかわいい寝姿や明るく元気いっばいの声が審査員の好評を得て、特別賞の一つ「ほのぼのの賞」を受賞しました。受賞したCMは今後1年間、岩手朝日テレビで50回放送される予定です。



## 団体部門で優良賞を受賞 14区地域支え愛の会

11月19日、厚生労働省主催の第7回「健康寿命をのぼそう!アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)」において、14区地域支え愛の会(小野寺安夫代表)が厚生労働省老健局長賞団体部門優良賞を受賞しました。地域住民が主体となり、一人暮らしや日中独居高齢者を対象に月2回買い物支援をするほか、週1回いきいき百歳体操を実施するなど、高齢者の見守りや生活支援、健康増進につながる取り組みが認められたものであり、県内では初受賞となります。

